



今月のイベント棚

脳活！

ぽかぽか陽気に誘われて、ついつい、うとうとしてしまふこの季節。

みなさまの脳はのんびりしすぎていませんか？

今月は「脳活！」をテーマに、楽しみながら脳を鍛えられそうな本をあつめてみました。ぜひぜひお気に入りの本をみつけて、脳をすっきりリフレッシュさせてみてはいかがでしょうか？

資料の展示場所は図書館1階です。

イベント棚の資料は <http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp/room_ad/evebook.html>でも閲覧できます。

3月の図書館カレンダー

Calendar table with days of the week and dates. 3rd is highlighted.

開館時間 平日(火～金) 午前10:00～午後8:00 土・日・祝日 午前 9:00～午後7:00

※3月1日(火)～3月3日(木)まで、蔵書点検および館内整理などのため休館となります。ご了承ください。



<新川和江コレクション>

ゆつき図書館 ☎34-0150 URL: http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp

ゆつき図書館利用案内その45 新川和江コレクションおよび新川和江コーナーについて

図書館3階ギャラリーに、「新川和江コレクション」として、名誉市民で詩人の新川和江さんより寄贈いただいた約1万冊の図書とあわせ、現代詩人賞など多数の受賞記念品、直筆の原稿や15歳のときに詩人西條八十氏のもとへ持参した詩のノートなど、新川和江さんに関する貴重な資料を常時展示しています。

また、図書館2階には新川和江さんの著書および「新川和江賞」未来をひらく詩のコンクール」受賞作品集などをあつめた「新川和江コーナー」があります。ぜひお立ち寄りください。

協働のまちづくり市民活動レポート

問合先 | 市民活動支援センター ☎54-7008

休 館 日：月（休日の場合はその翌日）および年末年始 開館時間：午前9時～午後5時

協働のまちづくり講座を開催！

1月28日に「実例から学ぶまちの活かし方」をテーマとして、協働のまちづくり講座を開催しました。今回は、市民活動を通じてまちづくりに取り組んでいる方々の話を聞く講座として、結いプロジェクト代表の飯野勝智さんと野口純一さん、栃木市で活動しているマチナカプロジェクト代表の大波龍郷さんを講師に迎え、活動に至った経緯や内容について発表していただきました。

飯野さんからは、「まちを元気にしたい」という想いから結いプロジェクトを結成した。歴史ある景観を活かしながら、新たな視点でまちづくりに取り組んでいる。活動を通じて少しずつ地域との関わりができていく」とありました。

大波さんからは、「歴史的な建物や空き家を、若者の活動や地域交流の場として再活用できるような取り組みをしている。現在、高校生をはじめ若者と地域をつなぐ活動をしているが、栃木市から離れても、また関わりたい、暮らしたいと思えるようにしていきたい。」とお話がありました。

活動発表のあとは、意見交換が行われ、お互いの活動の共通するところや課題についての意見が出されましたが、3人とも「なによりも自分たちが楽しんで活動することが大切である。」と述べられました。

今回の講座には約100人の参加があり、参加者からのアンケートには「若い人たちが、自ら地域の活性化のために活動している話を聞いて、とても力強く感じられて良かった。」とあり、大変有意義な講座となりました。



〈前回のあらすじ〉

守り本尊である不動明王から自身の行動を咎められた将門でしたが、すでに新しい国の建設は着々と進み、将門は不動明王の言葉に従いませんでした。再び不動明王は将門の夢に現れ、将門を諫めましたが、将門は不動明王に決別の意思を伝えました。

不動明王(十五)

ふるよしの民話

第五十二回

天慶三(九四〇)年一月、朝廷は、将門の乱をおさめるために藤原忠文を征夷大將軍に任命すると同時に、神社仏閣に早くおさまるようお祈りをさせました。

そのころ、朝廷では費用がかかりすぎるという理由で、常備の軍隊をもっていませんでした。藤原忠文は、兵隊を募りながら阪東に向かって東海道を下ってきました。

将門を捕えるか、斬るかしたものには、沢山の褒美を与えるという朝廷からのおふれが各地に下されていたので、一攫千金を夢見る人々がたくさん応募してきました。朝廷のこのような動きをみとって、将門の追捕の目を逃れるために、常陸の国を転々と隠れ住んでいた国香の長男貞盛は、下野の国の佐野に館をかまえ、強い力を持っていた藤原秀郷を訪問し、一緒に将門を征伐してくれるよう頼みました。秀郷も朝廷などの動きを読み取り、貞盛と協力して将門

を討伐する決心をしました。

秀郷と貞盛は、話が決まると翌日から、将門と戦うために領地にスパイを放して、将門側の動きを探らせました。

そんなことがあるとは夢にも知らぬ将門は、貞盛を捕まえようと五千の兵を率いて常陸の国の北部の地方を探し回っていました。

ひるま江(現在の涸沼)のほとりで、貞盛の妻などを捕えることができてわかりませんでした。将門は、捕えた貞盛の妻などに高価な着物や、やすらぎの言葉を与えてやりま

した。将門のこのあたたかいはからい は、連日の戦や、捜査で心身とも荒れ、疲れ果てている兵士たちにやすらぎを与えました。

常陸北部地方の捜査を終わらせ、岩井の館に戻ると、将門は兵士達を一時各々の家に帰しました。将門の館にはほんの数人の兵士だけしか残しませんでした。

秀郷が将門の領地内に放していた

スパイは、秀郷にそのことを報告しました。秀郷は報告を聞くと、おも

だった家来を集めました。そして、厳しい声で、「天の時がきた。明日、将門を攻める。ただちに出陣の準備をせよ」と、命令を出しました。

命令を受けた家来は、出陣の知らせを持って各地に馬を走らせました。今までに、既に出陣の準備が整えられていたので、準備完了の知らせが各方面から続々とどきました。

その間に、秀郷と貞盛は作戦会議を開き、周到な作戦を練りました。秀郷は貞盛に、

「将門の兵士は、長い間の貴殿の捜査で疲れている。その上、久しぶりに家に帰ったのであるから、気もゆるんでいる。家の仕事も山ほどたまっている。今ただちに攻め入れれば、すぐに集まってはこない。今攻めれば必ず勝つ」と、力強いいいました。

(その十六へつづく)

農事組合法人 宮崎協業 新米ミルキークイーン 常陸秋そば100% 干し芋

IKI・TEI 50号バイパス沿い 結城市新福寺3丁目3番地11

結城本校 結城駅前(北口) Aiti English School 生徒募集!!